

多久市

シェアリングエコノミーの活用について



多久市長 横尾俊彦

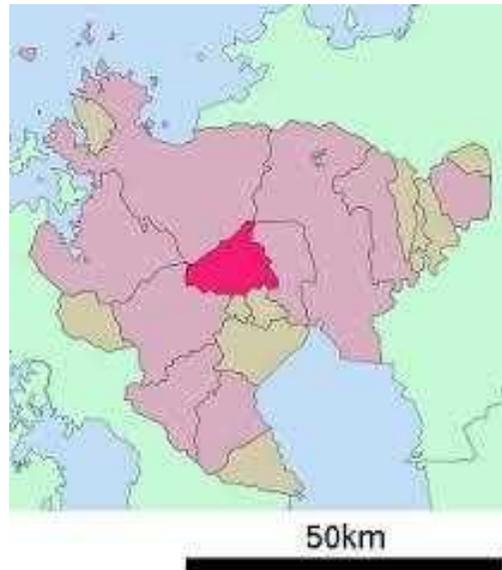
2017. 8.2

第1回今後の共助による地域づくりの在り方検討会



# 佐賀県多久市の概要

- 市の花(うめ)
- 市の木(かえで)
- 人口 19,813人
- 男性 9,275人 / 女性10,538人
- 世帯数 7,836世帯
- (平成29年4月1日現在)



# 地方創生加速化交付金事業について

①平成28年3月議会「地方創生加速化交付金事業」として「人としごと創生事業補助金」の中に「ローカルシェアリングセンター事業補助金」

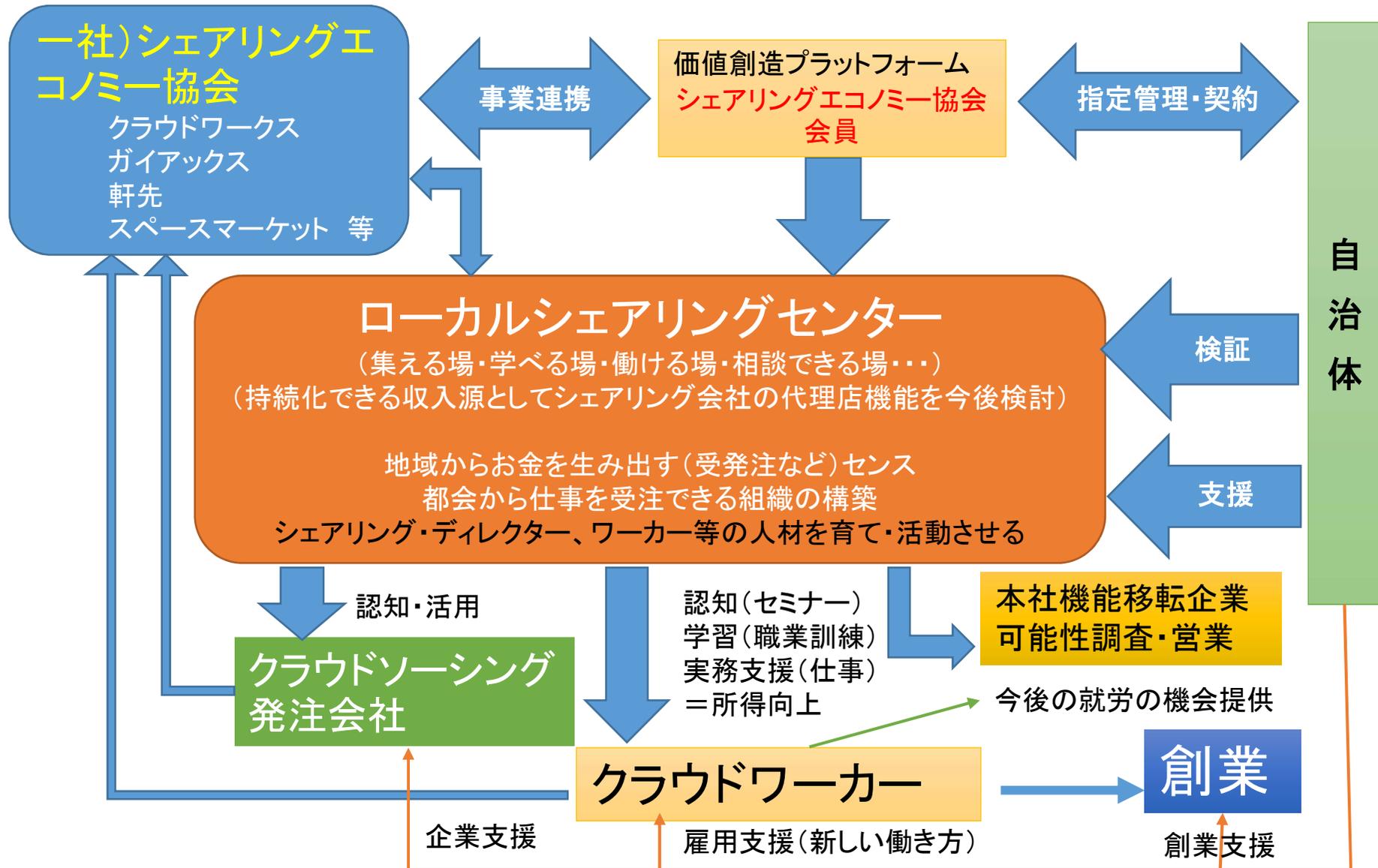
- ・仕事をしたくても環境上できない方に対し、スキルを高める研修を行い、就業の機会を提供する。

- ・創業を検討されている方の地方でのスタートアップをして仕事の受注機械を増やす。

- ・都市圏での仕事を地方で実施する流れを作り、地方の所得増と、ワーカースキル向上による都市圏企業の本社機能を誘致できる地域としての下地を作る。

②平成28年度 繰越明許費（総務費・総務管理費・企画費）  
地方創生加速化交付金事業により、平成28年度事業として実施

# 多久市ローカルシェアリングセンター事業概要



# 多久市ローカルシェアリングセンター

---

## 【目的】

- ・スキルを高める研修と、インターネットを通じた仕事の受注
- ・仕事の受注機会を増やす
- ・都市圏企業の本社機能の誘致ができる地域としての下地を作る
- ・上記事業が地方都市に根付く場所と仕組みを創出する

## 【機能】

- ・研修所(学べる場所)
- ・交流の場所(気軽に集い、相談できる場所)
- ・コワーキングスペース(仕事を行う場所)
- ・託児スペース



# シェアリングエコノミーセミナーの実施

月日	登壇社1	登壇社2	登壇社3	登壇社4
7/29	 クラウドワークス	 エニタイムズ		
9/20	 ココナラ	 AsMama		
11/1	 ガイアックス	 軒先株式会社	 notteco	 バズポート
1/27	 スペースマーケット	 Airbnb		
2/17	 クラウドワークス	 内閣官房シェアリングエコノミー促進室		

# クラウドソーシングで稼げる能力をつける

合計24回の研修受講→試験→ワーカー契約→仕事受注開始

## ワーカー研修計画書 (2016.08～2017.3)

パソコン スキル UP 研修	担当: 多久 LSC
----------------	------------

研修日時 火曜・金曜(9:30～11:30 or 13:30～15:30)実施

※8/22～24 (AM)ライティング講座

日程	研修内容	日程	研修内容	日程	研修内容	日程	研修内容
①7/29	オープンセミナー	⑥8/22	ライティング基礎研修	⑪9/6	クラウドソーシング実践	⑮10/4	“Kintone”研修
②8/5	自己紹介	⑦8/23	ライティング基礎研修	⑫9/9	クラウドソーシング振り返り	⑳10/7	“Kintone”研修振り返り
③8/9	Word 入力基礎 (CS)	⑧8/24	ライティング基礎研修	⑬9/13	クラウドソーシング実践	㉑10/11	“Kintone”研修
④8/12	Excel 入力基礎 (CS)	⑨8/30	ライティング基礎振り返り	⑭9/16	クラウドソーシング振り返り	㉒10/14	“Kintone”研修振り返り
⑤8/19	入力基礎 (CS) テスト	⑩9/2	ライティング基礎振り返り	⑯9/20	クラウドソーシング実践	㉓10/18	総合まとめグループワーク
				⑰9/23	クラウドソーシング振り返り	㉔10/21	一言発表 閉講式
				⑱9/27	クラウドソーシング実践		
				⑲9/30	クラウドソーシング振り返り		

8 月

月	火	水	木	金	土	日
7/25	26	27	28	29	30	31
8/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9 月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10 月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12 月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1 月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

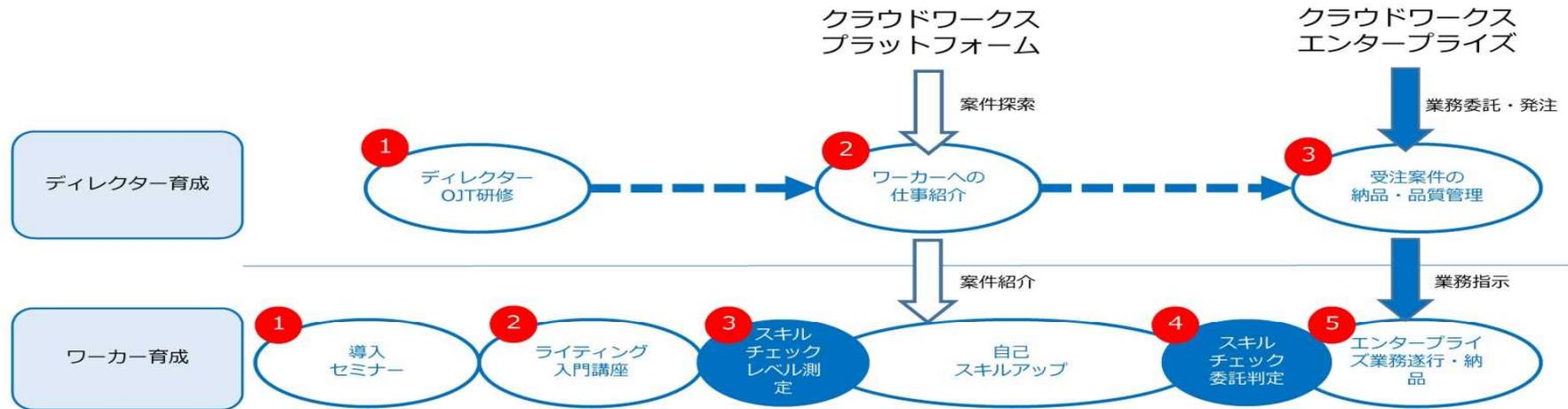
2 月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

# クラウドソーシングで稼げる能力をつける

## 「クラウドディレクター・ワーカー育成」事業 基本概要

### ■ 育成事業の概要とステップ



#### ◆ディレクター

- ①.CWにてディレクション実務の研修（2週間）を受講し、ワーカーマネジメント、進行管理方法を習得する。
- ②.プラットフォームや地域の発注案件を探索し、ワーカーへ紹介、ワーカー自らの受注を促進し、スキルアップを支援する。
- ③.ワーカースキルチェックレベル判定結果により、CWのエンタープライズ案件を業務委託で発注、ディレクターが受注し品質・納品管理を実施。

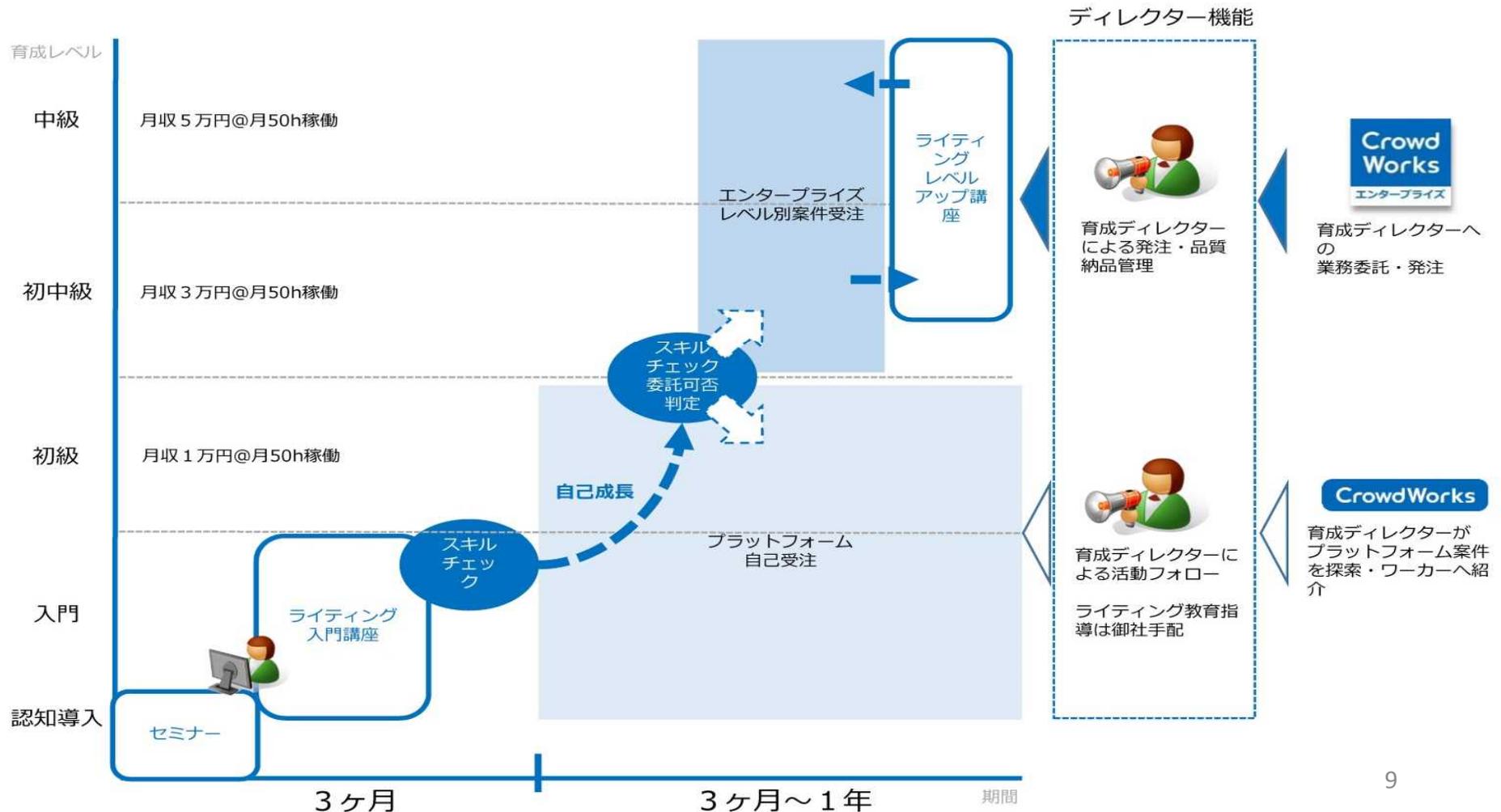
#### ◆ワーカー

- ①.導入セミナーにてクラウドソーシングの認知・理解を行い、新しい働き方への参加意欲・ワーカーの募集を実施する。
- ②.ライティング入門講座により、WEBライティングの基本ルールや執筆スキルを獲得する。
- ③.ワーカースキルチェックを実施し、ワーカー執筆レベルを判定、ディレクターによる指導のもと、自己受注によるトレーニングを実践し、執筆スキル・スピードを高める
- ④.ワーカースキルチェックを実施し、エンタープライズ案件受託レベルの判定を行う。
- ⑤.ディレクターによる品質納品管理のもと、スキル判定をクリアしたワーカーに対し、エンタープライズより案件を発注。

# クラウドソーシングで稼げる能力をつける

## 「クラウドディレクター・ワーカー育成」事業

### ■ワーカーレベルと教育プラン



# 実施した事業・目標と結果

H29年3月時点で

	目標	結果
ディレクター育成	2名(雇用)	達成
ワーカー育成	40名	37名
稼いでいるワーカー	10名	22名(達成)
シェアリングエコノミーセミナー	10社招聘5回	達成
クラウドソーシング体験会	60社	56社
クラウドソーシング継続利用企業	10社	検討
本社機能一部移転	1社以上	4社検討
創業者	1社以上	検討

# ★ 多久市での効果（口コミ）

- 市民満足度の向上！！（多久市何かやってる？）
- 少額でも収入につながった！
- 自分のためにお金を使える喜び！
- 多久市外者からの認知度向上（ワーカーは多久市外者もOK）
- シェアリングシティとして多久市のイメージアップ
- 働きたい人のサークルができ、定例会開催等により、事業継続やる気・モチベーションアップ！
- シェアリングエコノミーにより市民の便利な生活に期待
- 防災、観光、福祉など新たなIoTへの理解が深まった



---

# シェアリングシティとして

---

平成28年11月24日 **シェアリングシティ宣言**



# 多久市のシェアリングで課題解決

## 1. 仕事

→ → → 在宅ワーカーの育成

CrowdWorks



## 2. 観光資源

→ → → TABICA (タビカ) 体験型観光連携

TABICA  
地域の暮らしを旅する



## 3. 多久市に魅力

→ → → シェアリング効果により魅力的な街へ

## 4. 情報発信

→ → → (多久市の魅力) 高校生まで医療費無料、保育園の待機園児なし

アズママ  
A-s-Mama Inc.

ANYTIMES



# 多久市の取り組み①(平成29年度)

## 1. 地域おこし企業人の活用

(地域おこし交流プログラム事業)

⇒シェアリングエコノミー協会事務局を持つ

株式会社ガイアックス(タビカ)との連携



## 2. 創業支援計画策定により

ワンストップによる創業支援

(実践型地域雇用創造事業(案))

⇒地元住民のシェアリングエコノミー体験

⇒シェアリングエコノミー創業支援



## 多久市の取り組み②(平成29年度)

---

### 3. 総務省地域IoT実装実験事業 (H29.7.7内示)

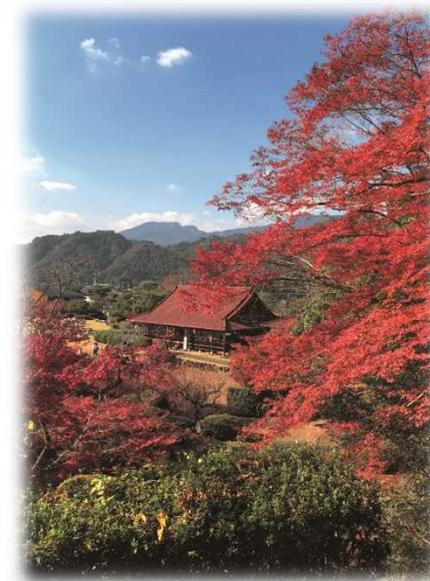
#### 【防災】

IoTとG空間情報を融合した  
多久市G空間地域防災システムの構築事業



#### 【観光】

官民協働による九州の地域資源  
観光シェアリング化事業



# 地域おこし企業人交流プログラム

三大都市圏に勤務する大企業の職員が、そのノウハウや知見を活かし、一定期間地方自治体において、地域独自の魅力や価値の向上、安心・安全につながる業務に従事することで、地方圏への人の流れを創出

## 対象企業

TABICA 株式会社ガイアックス  
東京都千代田区平河町2-5-3

## 活動先

多久市内

## 期間

1年～3年

## 予算

4,748,000円  
・派遣元企業負担金(人件費)350万円  
・旅費(受け入れ時、打合せ等)45万円  
・活動費(自動車リース、保険料、燃料費、イベント謝金等、チラシ作成)79万円

## TABICA



社会貢献マインド  
人材の育成・キャリアアップ  
⇒民間企業の新しい形の社会貢献  
⇒人材育成・キャリアアップ  
観光振興コンテンツの自治体との連携

## 多久市

### 【多久市における企業人の活動案】

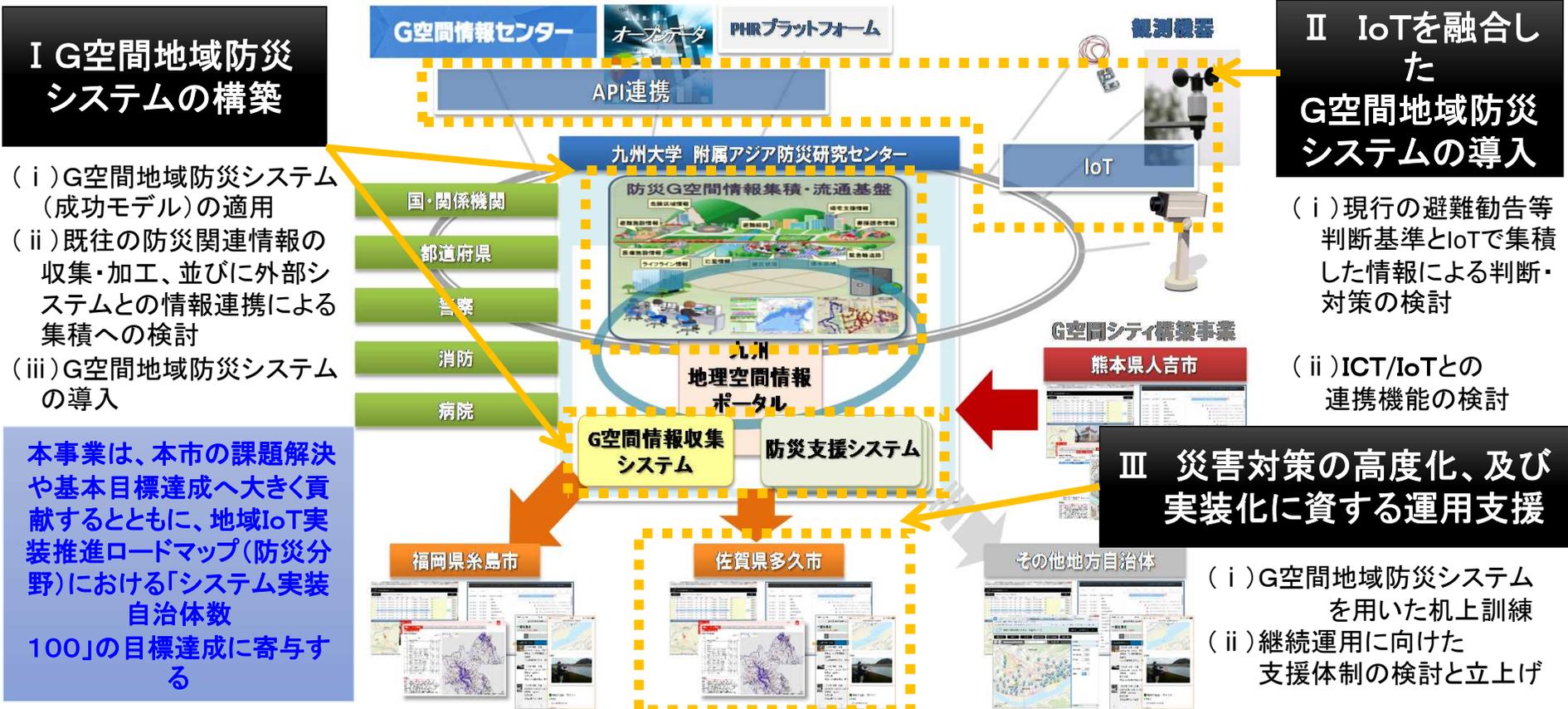


- 着地型観光や外国人観光客誘客など企画商品の開発や運営に従事
- 職務経験を活かした観光講座の講師や企業が運営する広報誌やマルシェと連携した特産品販売事業に対する助言を実施

### 〔具体例〕

- たくたび(着地型観光)コンテンツの増
- 農業体験プログラムコンテンツの開拓
- 受入側の魅力あるおもてなしの伝授
- 受入体験により生きがい・やりがいの構築と市民満足度アップ
- 外国人観光客誘致(インバウンド)に向けた企画立案と実行展開

提案者	佐賀県 多久市	共同実施団体名	九州大学、株式会社パスコ	満たす事業の要件	要件①
事業費	円	実施地域	佐賀県 多久市		
事業概要	地域防災の最優先で取り組むべき課題を解決するため、熊本県人吉市において実施した総務省委託事業（平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」、並びに平成26年度補正予算「G空間防災システムとLアラートの連携推進事業」）において実証・構築した「G空間地域防災システム」を多久市において普及・展開する。なお、人吉市と同様に、大学や民間企業等との産学官協働により、本市の地域特性を考慮したさらなる拡張を図るものとする。また、「地域IoT実装推進ロードマップ」の実現に向けた取り組みについても実施する。				



# 官民協働による九州の地域資源観光シェアリング化事業

別紙2  
様式6

提案者	特定非営利活動法人価値創造プラットフォーム		要件	1・2
事業費	千円	実施地域	佐賀県多久市・長崎県佐世保市・熊本県錦町・熊本県和水町	
事業概要	<p>①TABICAを通じ、地域資源を魅力的な観光コンテンツ化し、地域在住の個人がつくる地域体験ツアーをサイト上に掲載、民間主導での地域体験シェアリングプラットフォームを構築・運営する。</p> <p>②ツアー内容や利用状況はTABICA上のクラウドデータベースに全て集め、課題の分析等を行い、自治体等にその知見を広く共有する。</p>			



## ■地域が抱える課題

少子高齢化による人口減少、人材不足、自治体の財政難等から観光客は地方へ行かず、地域資源も有効活用されない状況である。

## ■事業展開後に想定される効果

- ・観光コンテンツ化を増やす事で、地方への観光客送客ができる
- ・立ち上げから運用まで既存の民間のオンラインプラットフォームを利用することで、初期立ち上げコストの大幅な抑制と地域のICT化を促進する。

## ■先進事例の横展開へ

- ・地域IoT実装推進ロードマップの官民協働サービス分野「シェアリングエコノミー」の横展開事業。
- ・TABICAは「ICT地域活性化大賞2016」にて奨励賞を受賞。

## ■関係団体とのタテ・ヨコ連携構築

3主体(自治体・TABICA・DMO法人ら地域関係団体)と実装エリア同士が連携して、地域課題の解決を担う着地型観光ツアー造成を企画する。

佐賀県多久市  
—緑園に輝く—  
みんなで創る  
文教・安心・交流のまち

